

# すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求めます。

## 2023年度 《教育無償化、少人数学級、教職員定数増、教育条件改善を実現しよう》



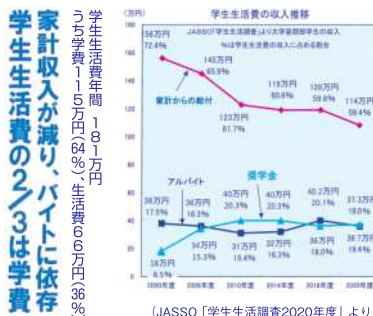
どこでもどの子も給食無償化!!

33年間で約4.7億筆、2022年は約335万余筆を国会に、7761筆を静岡県議会に提出し、請願しました。その成果として、

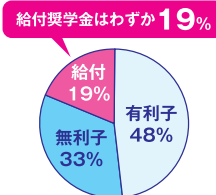
- 義務標準法改正、**小学校35人学級**5年計画で実現、静岡県では2009年から独自に35人学級スタート、静岡県、静岡市では「下限25人」の制限も廃止
- 小中学校の普通教室に**エアコン**設置、高校の特別教室にも設置開始
- トイレの洋式化**も施工開始
- 私学の授業料実質無償化**（静岡県では年収800万円未満の世帯、施設設備費などは私費負担）などを実現してきました。

## 返済不要の「給付制奨学金」の拡充

### 困窮する日本の大学生



### 日本学生支援機構の奨学金利用者の内訳

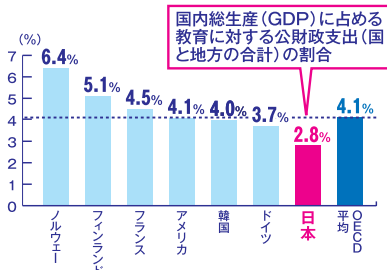


国立大学授業料	535,800円/年
入学金	282,000円
私立大学授業料(平均)	930,943円/年
入学金	245,951円
施設設備費	180,186円
<b>奨学金受給者の割合 49.6%</b> (2020年度)	
奨学金の借入総額(2019年度調査)	
・平均	324.3万円
・毎月の返済額	16,880円完済に15年

## 『教育は無償』が世界の常識

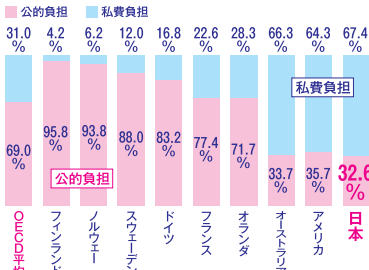
日本は38カ国中37位

### ○公財政教育支出の対GDP比(2019年)

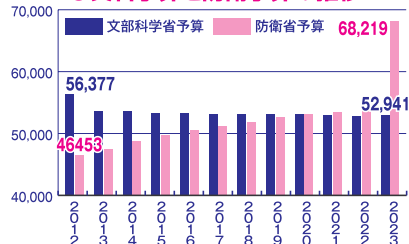


世界で3番目に高い日本の大学の授業料

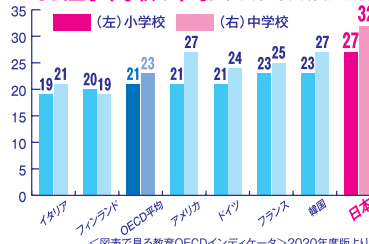
### ○高等教育(大学等)の公私負担区分



### ○文科予算と防衛予算の推移



### ○公立小中学校の平均クラスサイズ(学級の規模)



今すぐ、何とかしましょう!!

先生が足りません!  
先生が忙しすぎ!  
先生のなり手がいません!

## 「食育」の一環としての給食費も無償に!!

全国約1600市区町村の3割が、2022年度に給食費を無償化。  
生命・健康の維持と共に、人との、社会とのつながりを体験として学ぶ貴重な学びの場「給食」は、全員無償に!

防衛費をGDP比2%、5年間で43兆円確保などより、その分5.4兆円を教育予算に回し、OECD平均4.1%並み(約6兆円)に引き上げれば、大学授業料の無償化(1.8兆円)、30人学級、教職員定数改善、給付制奨学金拡充(約2兆円)、児童手当の高校までの延長(1兆円)が実現可能です。

2012年9月、日本政府は国際人権A規約第13条2項【権利としての無償教育】を全て批准し、「幼稚園から大学院まで、すべての教育段階において無償教育を実現する」と国際公約しているのに。

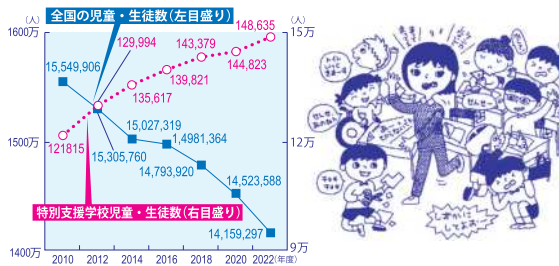
## 特別な支援を必要とする子どもたちの教育の充実

「設置基準」をいかに、特別支援学校の過大・過密の解消、既存校への適用は急務

現状の特別支援学校は教室不足が深刻...



## 特別支援学級の1クラス8人を6人に



47都道府県のなかで、静岡県の財政力は全国7位なのに、児童・生徒一人あたりの教育予算は、小学校42位、中学校39位、特別支援学校35位、全日制42位、定時制46位です。

静岡県民会議  
静岡市市民会議  
請願団体・子どもと教育を考える



# 国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！ 2023年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

## 請願趣旨

物価高騰でいっそう広がる貧困と格差は子どもたちの成長・発達、心身に深刻な影響を与えています。子どもたちのいのちと健康を守り、学びを保障していくためには、少人数学級のさらなる前進、教職員の増員、養護教諭の配置拡充等が必要です。

長年の運動により、義務標準法改正により国の責任による小学校35人以下学級が前進しました。しかしOECD平均である20人程度の学級に比べ、学級規模は大きすぎます。国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を小・中学校や高校でさらにすすめるべきです。

小・中学校、高校、特別支援学校で、教員の未配置が起きている実態が明らかになっています。学校現場では、病欠休暇や産前産後休暇、育児休業などの代替教職員が見つからない「教育に穴があく」状況が数か月続くなど、いっそう深刻です。しかし国は教職員定数を毎年削減し続けており、改善には程遠い状況です。教職員不足により自治体によっては独自の少人数学級が維持できなくなる事態も起き、新年度の4月に教職員が足りず、担任が配置できない学校も各地で出ました。

国の責任で、教職員の負担軽減をすすめるとともに、正規の教職員を増員することが求められています。あわせて、私立高校等経常費助成補助の大幅増額し、私学でも専任の教職員を増員することが必要です。

公立・私学ともに学費無償化をすすめることも急務です。高校や大学等での教育無償化を実現するためにも、奨学金制度のさらなる拡充、高等学校等就学支援金制度の拡充など、国際人権A規約「無償教育の漸進的導入」を具体化し、子どもたちが安心して学べる教育条件の整備を国の責任で前進させるべきです。また、父母・保護者の教育費の負担を軽減することが重要です。特に、給食無償化は、給食の安全性を保った上で実現する必要があるため、予算確保が必要です。

この間、政府予算は過去最大を毎年更新する一方で、文教予算は削減され続けています。日本の「公財政教育支出の対GDP比（2019年）」は2.8%とOECD諸国の中で最低です。これを、OECD諸国平均4.1%まで引き上げれば、小・中学校、高校までさらなる少人数学級の前進、公立・私学ともに就学前から大学まで教育無償化など、ゆきとどいた教育を保障する教育条件整備をすすめることが可能となります。

憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校づくりをすすめるために、すべての子どもにゆきとどいた教育を実現する教育条件整備を以下のように入願します。

## 請願項目

- 子どもたちのいのちと健康を守り、学ぶ権利を保障するため、教育予算をOECD諸国並みに計画的に増やしてください。
- 義務・高校標準法を改正し、国の責任で、小・中学校、高校での35人以下学級を早期に実現してください。自治体独自の少人数学級が維持でき、欠員が生じないよう、十分な教職員を確保してください。「20人学級」を展望して少人数学級をさらに前進させてください。幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
- 有期雇用ではなく、正規・専任の教職員を増員してください。
- 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
  - 高校・大学等の学費無償化や高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
  - 私学経常費助成補助の増額と就学支援金拡充で学費の公私間格差をなくしてください。
  - 給食無償化を実現し、安全安心な給食を提供できるよう、自治体への財政支援を国の責任ですすめてください。
- 公立・私学ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
  - 特別支援学校の過大・過密解消のため、国による財政支援の拡充、学校新設や既存校へ「設置基準」適用をすすめてください。
  - 学校の耐震化・老朽化対策、洋式トイレやエアコンの普及、バリアフリー化をすすめてください。
- 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

## 国に提出します。

氏名（フルネームで）	住所（〇〇県△△市□□町1丁目2-3 ← 番地までお書きください。）
	静岡県
	静岡県
	静岡県
	静岡県
	静岡県
	静岡県

※名前(姓)や住所を「。」「同上」のように省略せずに記入してください。※上記個人情報は、国会へ提出する以外に使用しません。

ゆきとどいた教育をすすめる会 〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-1 全国教育文化会館 3F ☎ 03-5211-0123

## 就学援助の拡充を！



## 教育全国署名運動

### 記入上のお願ひ

- ◎趣旨に賛同の方なら年齢は問いません。（ご家族にもお願ひしてください。その際「同上」「々」は無効になります。住所も氏名も省略せずに記入してください。）
- ◎県外の方でも署名できます。
- ◎署名期間は、8月～11月です。
- ◎この署名は請願以外には使用しません。

◎子どもと教育を考える静岡県民会議

◎静岡私学助成会

（連絡先）054-254-6900  
静岡県高等学校障害児学校教職員組合  
静岡市葵区駿府町1-12

## 両方に署名してください

国へ

募金

県へ

募金についてのお願い

募金は、静岡高教組の給付制奨学金と、署名用紙の印刷代、郵送料、国会や県議会への請願団の派遣費などに充てさせていただきます。

署名時には切り離さないで下さい

署名時には切り離さないで下さい

# すべての子どもたちに ゆきとどいた教育を求める請願署名

## 請願趣旨

日本国憲法と子どもの権利条約が生かされ、子どもたちが人間として大切にされる学校をつくることは、すべての父母・保護者・県民の願いです。新型コロナウイルス感染拡大を防ぎ、子どもたちのいのちと健康を守ることを第一とし、どの子にもゆきとどいた教育を保障するために、以下のことを請願します。

## 請願項目

- 教育予算を増やし、教育費の私費負担を軽減してください。また、コロナ禍などによる家計急変の保護者・子どもへの支援を拡充してください。
  - 「就学支援金制度」の所得制限をなくし、高校の授業料を全員無償にしてください。
  - 「高校生等奨学給付金」「修学資金」等の要件を緩和し、増額してください。
  - 大学生への静岡県独自の「給付制奨学金」をさらに充実してください。
  - 小・中学生の保護者への「就学援助制度」を周知するとともに、認定基準の緩和、支給費目の拡大などができるよう市町を援助してください。
  - 「食育」の一貫としての給食も無償にするために、市町を援助してください。
  - フリースクールなど、学校以外の学びの場への援助を拡大してください。
- 教職員を増やして30人学級を早期に実現し、20人学級をめざしてください。高校の少人数学級化も早急にすすめてください。
- 国の責任で教育の機会均等とその水準の維持向上を図るために、義務教育費国庫負担制度における国の負担を3分の1から2分の1に戻し、教育費の公的負担を増やすよう国に働きかけてください。特別支援学級の学級編制標準を県独自で改善するとともに、国に働きかけてください。
- 地域の拠点ともなる学校を残すため、学校の統廃合や小中一貫校化をすすめてください。
- 私学経常費助成補助の増額と就学支援金拡充で、施設設備費を含む学費の公私間格差をなくしてください。
- 子どもたちのいのちと安全と健康を守り、学ぶ権利を保障するために、学習環境の改善をはかってください。
  - 県内すべての学校建物の100%耐震化および老朽化対策を行ってください。市町や私立の学校にも援助してください。
  - 自然災害・原発事故に対して、子どもたちの安全を守る対策を充実してください。避難所にもなる体育館にもエアコン設置、バリアフリー化をすすめてください。

解説 「高校生等奨学給付金」…生活保護・非課税世帯に授業料以外の教育費として年3.2万円～123.8万円給付  
「修学資金」…働きながら定時制や通信制の高校で学んでいる生徒を対象とした貸付金、月14,000円  
「要件」…保護者の所得制限、本人の就労、4年で卒業すれば返済免除など  
「就学援助制度」…標準保護世帯までの小中学生の入学準備金、5～6万円、学用品1～2万円、給食費など支給

## 県に提出します。

氏名（フルネームで）	住所（〇〇県△△市□□町1丁目2-3 ← 番地までお書きください。）
	静岡県
	静岡県
	静岡県
	静岡県
	静岡県
	静岡県

※名前(姓)や住所を「。」「同上」のように省略せずに記入してください。※上記個人情報は、県議会へ提出する以外に使用しません。

請願団体・子どもと教育を考える静岡県民会議・静岡市葵区末広町1-4 ☎ 054-254-6900